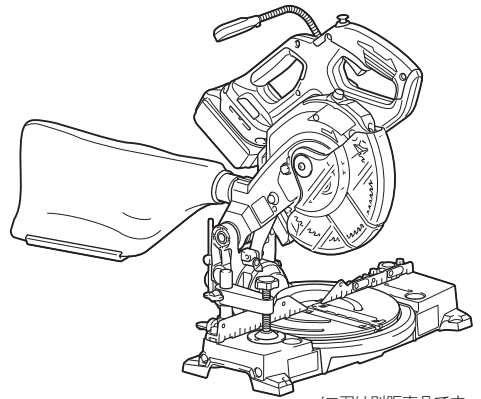


Makita

取扱説明書

165mm 充電式卓上マルノコ

モデル **LS600D**
レーザー・ライト・ブレーキ付



ノコ刃は別販売品です。

このたびは165mm充電式卓上マルノコをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 充電式卓上マルノコ安全上のご注意	12
・ 各部の名称	14
・ 標準付属品	15
・ 別販売品のご紹介	16
・ バッテリーについて	17
・ 充電器について	20
・ 使い方	29
・ ボックスレンチの収納	29
・ 本機の設置	29
・ ノコ刃（別販売品）の取り付け・取りはずし方	30
・ ダストバッグ	34
・ 刃口板の調整	35
・ ノコ刃の下限位置決め調整	37
・ ミニサブフェンスの使い方	38
・ 角度切断の切断角度設定	38
・ 傾斜切断の切断角度設定	39
・ 材料の固定（たてバイスの使い方）	41
・ レバーの角度設定	42
・ スイッチの操作	42
・ ライトの使い方	43
・ レーザーの使い方	44
・ レーザーラインの合わせ方	45
・ 各種機能	46
・ 切断方法	48
・ 本機の持ち運び	52
・ 1回の充電での作業量（BL1860Bの場合）	52
・ 別販売品の使い方	53
・ ホルダとセットプレートを使った定寸切断	53
・ ショルダベルトの取り付け方	53
・ 保守・点検について	54
・ レーザーラインの位置調整	54
・ 切断角度の調整	56
・ 安全カバーの動作点検と整備	59
・ レーザー発光部の清掃	60
・ 本機のお手入れ	61
・ ご修理の際は	61

主要機能

主要機能	モデル	LS600D		
電動機	DC ブラシレスモータ			
バッテリー	リチウムイオンバッテリー			
	バッテリー BL1860B (容量 6.0 Ah)			
電圧	直流 18 V			
回転数	5,000 min ⁻¹ (回転 / 分)			
刃物寸法 (使用できるノコ刃)	外径 155 ~ 165 mm 内径 20 mm			
切断能力 (高さ×幅 : mm)	ノコ刃 角度	左 45°	0°	右 45°
	ターン ベース角度	0°	30 × 92	46 × 92
		左右 45°	30 × 65	46 × 65
ターンベース 回転角度範囲	0° ~ 左右 52°			
ノコ刃 傾斜角度範囲	0° ~ 左右 45° (リリースレバー操作時 : 46°)			
本機寸法	奥行き 340 mm × 幅 400 mm × 高さ 440 mm			
質量	6.2 kg (BL1860B 装着時)			

充電器		DC18RF
入力電圧		単相交流 100 V
入力周波数		50/60 Hz
入力容量		330 W
バッテリー 充電端子	出力電圧	直流 14.4-18 V
	出力電流	直流 12 A
USB 電源端子	出力電圧	直流 5.0 V
	出力電流	直流 2.1 A
	端子形状	USB A 型

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

バッテリーアダプタ類について

- ・ 本製品はバッテリーアダプタ類を使用できません。使用した場合、けがや事故の原因になります。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

- | | |
|---|--|
|  警告 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。 |
|  注意 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。 |
|  注 | : 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。 |

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - バッテリーを本機に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - 本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本機から抜いてください。
 - 本機の調整
 - 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - 保管、または修理
 - 充電工具から離れるとき
 - 本機の受け渡し
 - その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。

⚠ 警告

2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・バッテリーを周囲温度が 50℃以上になる可能性がある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発熱、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発熱の原因になる恐れがあります。

⚠ 警告

15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。火傷、低温火傷の原因になるため注意してください。
 - ・ 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているため火傷の恐れがあります。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 性能が低下したり、故障の原因になります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
 - < 異常・故障例 >
 - ・ 本機やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本機やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

⚠ 警告

10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
 - ・ 誤動作や故障する恐れがあります。
12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安
 - ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

● 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式卓上マルノコ安全上のご注意

先に充電工具としての共通の注意事項を述べましたが、卓上マルノコとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB059-5

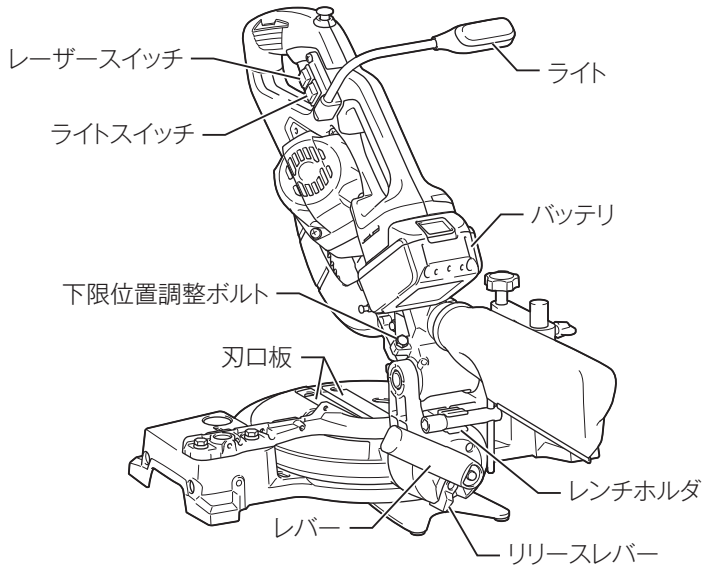
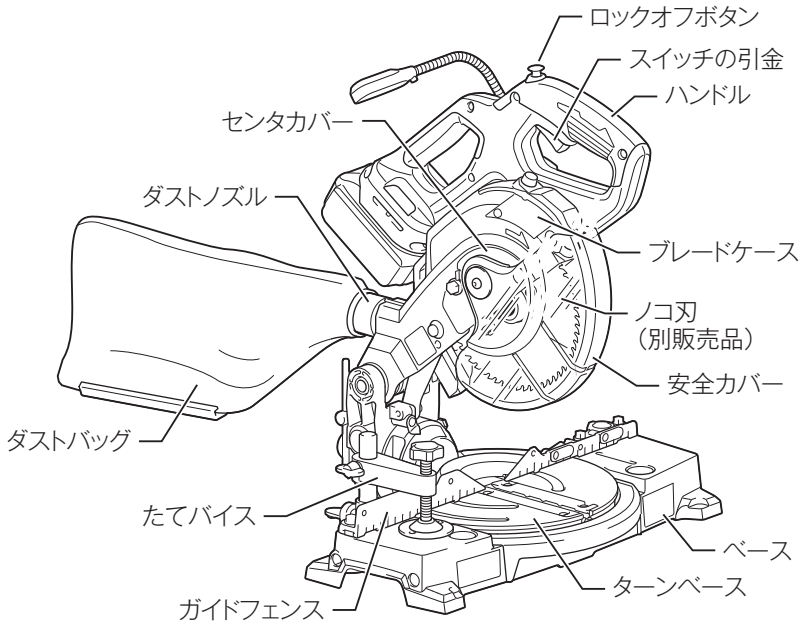
⚠ 警告

1. 安全カバーは絶対に固定したり取りはずしたりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
 - ・ ノコ刃が露出したままですとけがの原因になります。
2. マキタが指定したノコ刃以外は使わないでください。
 - ・ 本機の故障やけがの原因になります。
3. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。
 - ・ けがの原因になります。
4. 切断する材料は、バイスで確実に固定して作業してください。
 - ・ 確実に固定していないと、けがの原因になります。
5. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。
 - ・ このような台がないとけがの原因になります。
6. 使用中は、本機を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、本機が振れ、けがの原因になります。
7. 使用中は、ノコ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
8. 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本機を戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。その場合、スイッチを切り回転が完全に止まってから本機を持ち上げるようにしてください。
9. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
10. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
11. 破損や変形、また異常に摩耗した刃口板は、使用しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
12. アルミニウム、木材またはこれに類する材料以外のものを切断しないでください。
 - ・ 本機の故障やけがの原因になります。
13. 使用中は、本機に付属のダストバッグを装着するか、集じん機に接続してください。
 - ・ 切粉を吸い込むことがなく、衛生的に作業を行うことができます。
14. 切断する材料に適したノコ刃を使用してください。
 - ・ 本機の故障やけがの原因になります。
15. 溝入れ加工のときは、取り除く部分の飛散などに注意してください。
 - ・ けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 傾斜のない平坦な場所にすえ付けて、安定した状態にしてください。
 - ・ 不安定な状態だと、けがの原因になります。
2. 刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
3. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
4. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
5. 作業前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、本機の振動やノコ刃の振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・ 異常があるときが原因になります。
6. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
 - ・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
7. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
8. 切断しようとする材料の前方に手を置いたまま作業しないでください。
 - ・ 手を切ったり、感電の恐れがあります。
9. 回転するノコ刃で、充電器のコードを切断しないように注意してください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
10. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ・ 材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
11. 切断砥石を取り付けて使用しないでください。
12. レーザー光を直接のぞきこまないでください。（レーザー装備モデルの場合）
 - ・ レーザー光が目には直接当たると、目を傷める原因になります。

各部の名称



標準付属品

標準付属品

標準付属品 \ モデル	LS600DZ	LS600DRG
バッテリー	×	バッテリー BL1860B (容量 6.0 Ah)
充電器 (充電時間)	×	DC18RF (実用充電完了 *1: 約 27 分) (フル充電完了 *2: 約 40 分)
バッテリーカバー	×	○
バイスアッセンブリ (たてバイス)	○	○
ボックスレンチ 10	○	○
六角棒スパナ 2.5	○	○
ダストバッグ	○	○
三角定規	○	○

*1 実用充電完了：フル充電完了の約 80% の充電が完了した状態。

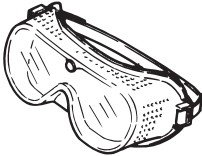
*2 フル充電完了：電池の容量一杯まで充電された状態。

別販売品のご紹介

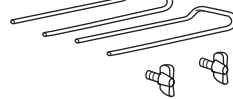
- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ ノコ刃

種類	外径 (mm)	刃数	部品番号
ダブルスリット	165	64	A-50762
集成材用			A-50809
アルミサッシ用		60	A-48474

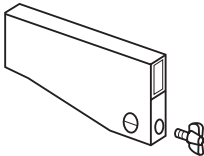
- ・ セフティゴーグル (保護メガネ)
部品番号：191686-2



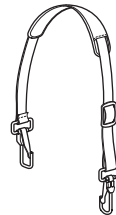
- ・ ホルダ金具セット品
部品番号：192621-3
材料の安定に。



- ・ セットプレート (ツマミネジ付)
部品番号：122472-0
材料の定寸切断に便利です。



- ・ ショルダベルト
部品番号：162741-7
移動時の両手がフリーに。



- ・ バッテリ BL1830B (容量 3.0 Ah)
部品番号：A-60442
- ・ バッテリ BL1840 (容量 4.0 Ah)
部品番号：A-56596
- ・ バッテリ BL1850 (容量 5.0 Ah)
部品番号：A-57196
- ・ バッテリ BL1860B (容量 6.0 Ah)
部品番号：A-60464

バッテリーについて

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。（スイッチを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください。）ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本機からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



Li-ion

リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

バッテリーについて

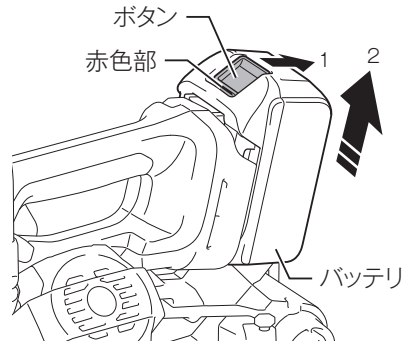
バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

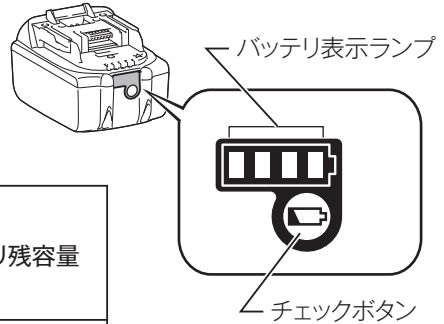
- ・ バッテリーを本機から取りはずすときは、
 1. バッテリー正面のボタンを下げながら
 2. スライドさせると取りはずせます。
- ・ 取り付けるときは逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



バッテリーについて

バッテリー残容量表示機能

- モデル名の末尾に「B」の付くバッテリーは、残容量表示機能が付いています。
- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



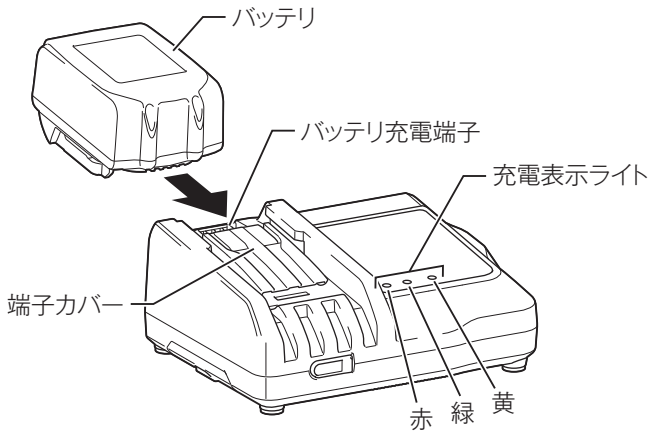
バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
	75% - 100%
	50% - 75%
	25% - 50%
	0% - 25%
	充電してください。
	バッテリーの異常です。

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。

充電器について

バッテリーの充電方法

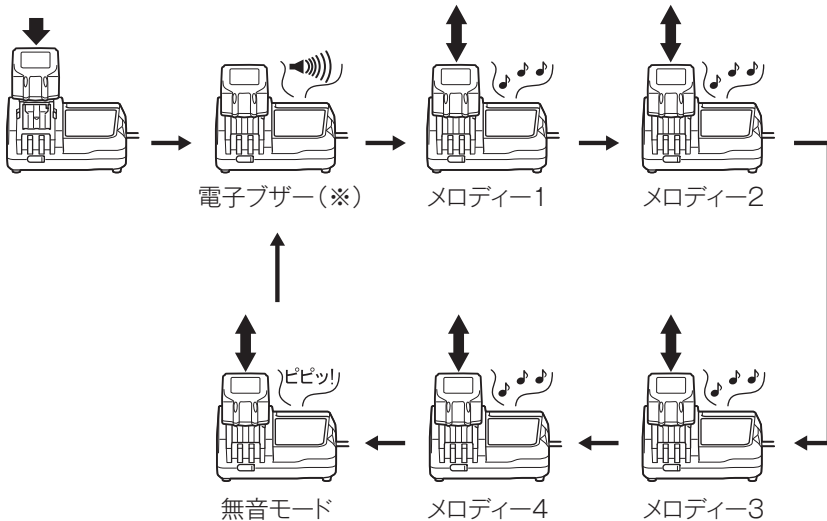


1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込みます。
 - ・ 充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れます。
 - ・ 充電器の端子カバーはバッテリー挿入に伴い開閉します。
3. バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴り、充電を開始します。
4. 充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。
 - ・ 充電時間は周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態（新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど）により変動します。
 - ・ 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約30分です。
5. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜きます。

充電器について

充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリーを充電器に差し込むと、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴ります。
2. このとき、素早くバッテリーを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
3. 続けて素早くバッテリーを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が鳴りましたら、バッテリーを挿入したままにすることで充電を開始します。
「ピピッ!」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音が鳴りません（無音モード）。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリー挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
6. 設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。



(※) 出荷時は電子ブザーに設定されています。

充電器について





充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。










(通常充電のライト表示および表示内容)

ライト表示	点滅 点灯	表示内容
  		充電前 「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
  		冷却中 「赤 1 個」点滅 バッテリーが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
  		充電中 「赤 1 個」点灯 バッテリー容量約0~80 %を示します。
  	 	実用充電完了 「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリー容量約80~100 %を示します。
  		フル充電完了 「緑 1 個」点灯 電子ブザーまたはメロディー

(オートメンテナンス時のライト表示および表示内容)

  		オートメンテナンス 「黄」点灯 バッテリー寿命低下防止のため充電時間が長くなります。
---	---	---

(異常時のライト表示および表示内容)

  	 	充電不可 「赤・緑 1 個」交互点滅 電子ブザー バッテリー寿命またはゴミつまりで充電できません。
  		冷却システム異常 「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

充電器について

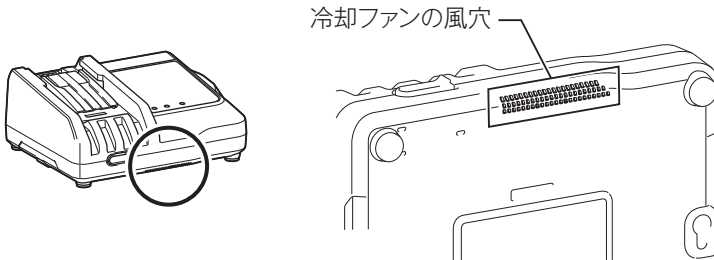
注

- DC18RF はマキタバッテリー専用の急速充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。
 - × 充電器のプラグを 100 V の電源に差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
 - × バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
- バッテリーを使用しないときは、バッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

充電器について

冷却システムについて

- ・ バッテリーの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- ・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリーのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行います。充電時間が長くなる場合があります。このようなときは、充電器、バッテリーの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ・ 充電器の前面下部にある「冷却ファンの風穴」がゴミでふさがれていないか定期的に確認、清掃をしてください。



- ・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- ・ 充電器、バッテリーの風穴をふさがないでください。
- ・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

オートメンテナンス機能について

- ・ オートメンテナンス機能は、バッテリーの使用状態に応じて自動的にバッテリーを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
- ・ 下記 1 ~ 4 の状態となった場合、特にバッテリー寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなる場合があります。
 - 1 高温充電の繰り返し
 - 2 低温充電の繰り返し
 - 3 満充電バッテリーの再充電の繰り返し
 - 4 過放電の繰り返し
(過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です。)

充電器について

USB 電源端子への接続

⚠ 警告

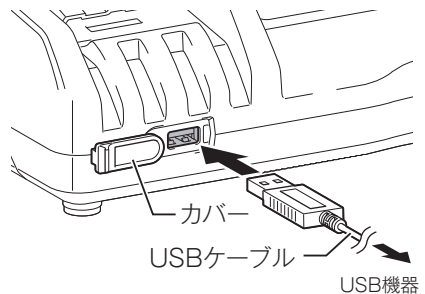
USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。

- ・ 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

DC18RF は、様々な USB 機器の外部電源としても使用することができます。次の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注

- ・ 万一の場合に備えて、ご使用になる USB 機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。接続した USB 機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
 - ・ USB 機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。
 - ・ 2.1 A を超える出力電流を必要とする USB 機器は、充電器に接続しないでください。USB 電源端子の最大出力電流は、2.1 A です。
 - ・ 充電器との接続には、USB 機器付属の USB ケーブルをご使用ください。
 - ・ 使用後は充電器正面のカバーを戻してください。カバーが開いていると充電器内部に水滴やほこりが侵入し充電器の故障につながります。
1. 本体正面のカバーをはずして、USB ケーブルで USB 機器と充電器を接続してください。
 2. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
 3. 使用後は、USB 機器、USB ケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。
 4. 電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



充電器について

壁に取り付けて使用する場合

⚠ 注意

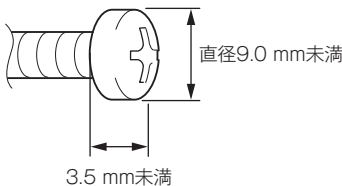
- ・ 壁に取り付けて使用する場合は、必ず吊下げ用ネジ 2 本で確実に吊下げてください。
- ・ 充電器を吊下げた後は、固定用ネジなどにより充電器を固定してください。固定が不十分な場合、充電器からバッテリーを抜き取る際に充電器が落下する恐れがあります。
- ・ 取り付け作業を行うときは、バッテリーを抜き取り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ 取り付け作業を途中で中断すると落下などの恐れがあります。取り付け手順を守り、最後まで確実に取り付け作業を行ってください。
- ・ 定期的にネジのゆるみがないか確認してください。
- ・ ネジのゆるみがあると充電器が落下する恐れがあります。
- ・ 定期的に充電器の端子部を掃除してください。
- ・ 端子部の掃除を行うときは、エアダスターなどでていねいに行ってください。
- ・ 充電器本体、バッテリーの総重量は、約 1.6 kg になります。取り付け場所の耐荷重が不足する場合は、十分な補強を行ってください。

壁面への充電器の取り付けは、次の手順で行ってください。

1. 事前準備

用意するもの（別途準備してください）

- ・ 木ネジ（吊下げ用）4 mm × 20 mm 以上：2 本
※ネジ頭は下図の寸法としてください。

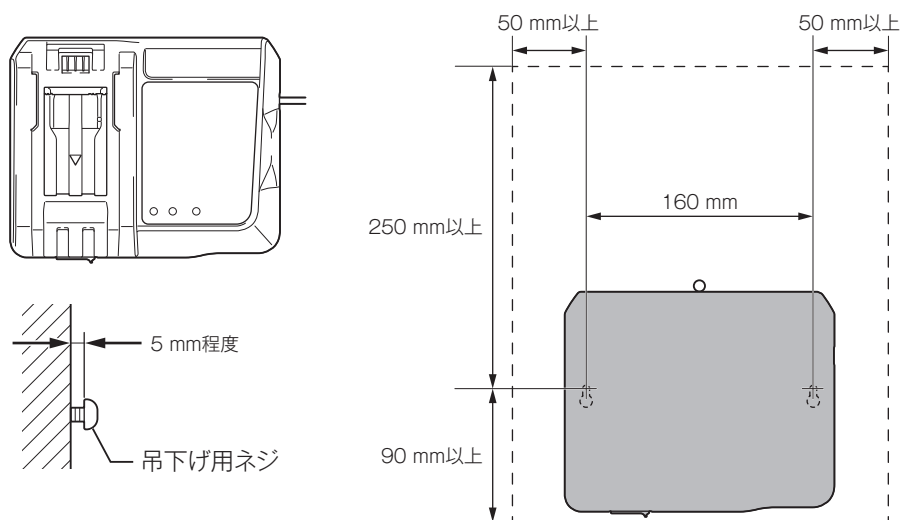


- ・ 木ネジ（固定用ネジ 1）4 mm × 25 mm 以上：1 本
- ・ 工具（ネジ締め用）

充電器について

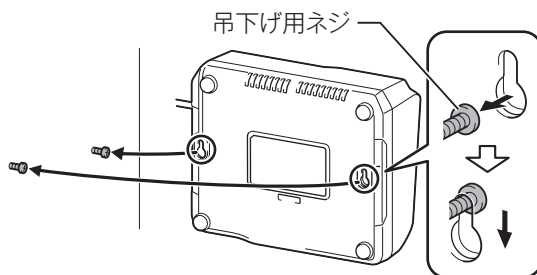
2. 吊下げ用ネジの取り付け

周りに充電器の取り付け作業や、バッテリーの充電作業の障害になる出っ張りなどが無い、強度のある壁面に取り付けてください。



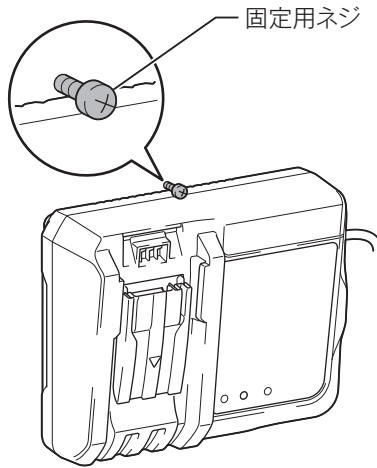
3. 充電器の取り付け

手順2で取り付けした吊下げ用ネジに充電器を引っかけてください。



充電器について

4. 充電器の固定
固定用ネジを図のように締め込んでください。



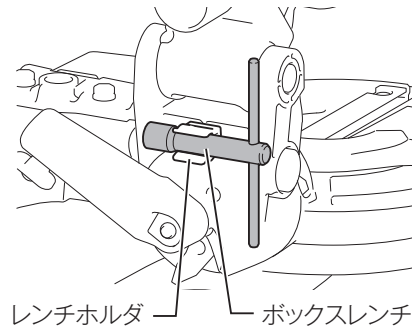
充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。
修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - × 温度や湿度の急変する所
 - × 湿気の多い所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 揮発性物質の置いてある所

使い方

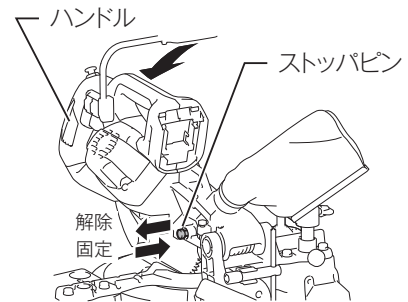
ボックスレンチの収納

- ・ ボックスレンチはアーム後面のレンチホルダに収納してください。

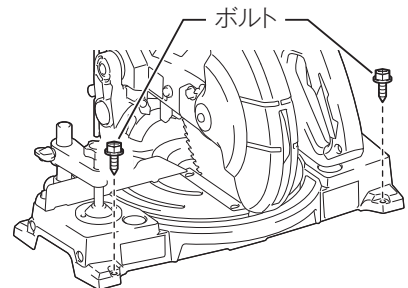


本機の設置

- ・ 出荷時には本機が下限位置に固定してあります。ハンドル部を少し押えながらストップピンを引いて固定を解除してください。



- ・ 傾斜のない平坦な場所に設置します。より安定させるためにはベースの穴を利用して2本のボルトで本機を固定してください。



使い方

ノコ刃（別販売品）の取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ノコ刃の取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

⚠ 注意

ノコ刃を取り付けるときは、本機に付いている矢印とノコ刃に付いている矢印の方向を合わせてください。

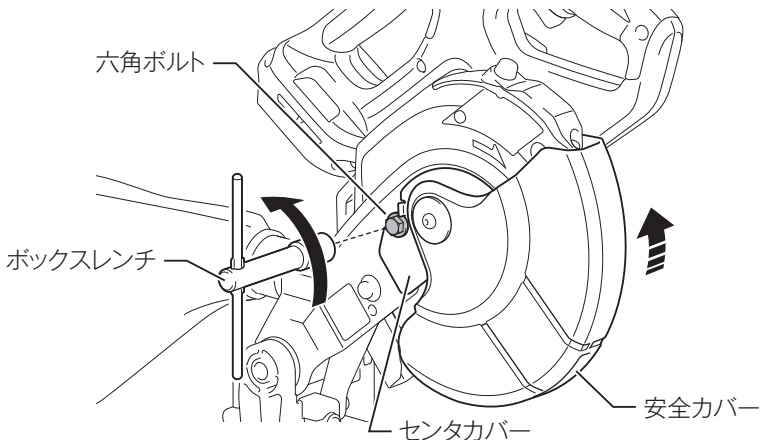
- ・ 矢印に合わせないと、ノコ刃の回転方向が逆となり、刃先を傷めたり、けがの原因となります。

ノコ刃の着脱は付属のボックスレンチ以外の工具は使わないでください。

- ・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因となります。

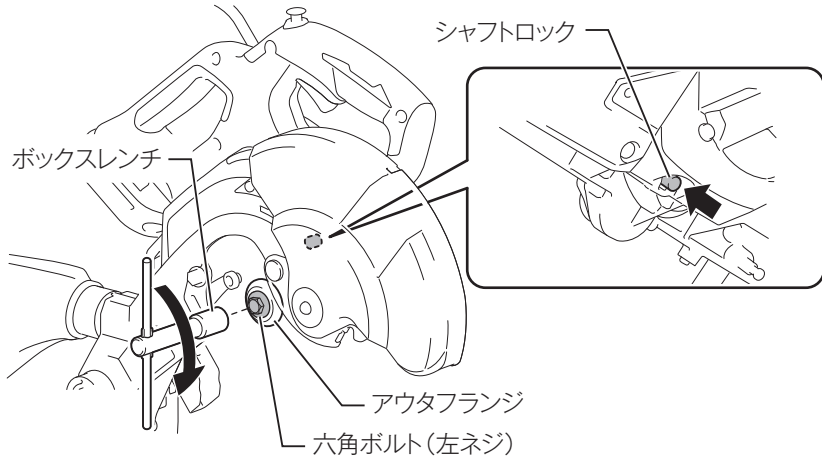
取り付け方

1. 本機が上がった位置で、ストッパピン（29 ページ参照）を押し込み、本機が下がらないように固定します。
2. センタカバーを固定している六角ボルトをボックスレンチでゆるめ、安全カバーを持ち上げ、センタカバーを開きます。

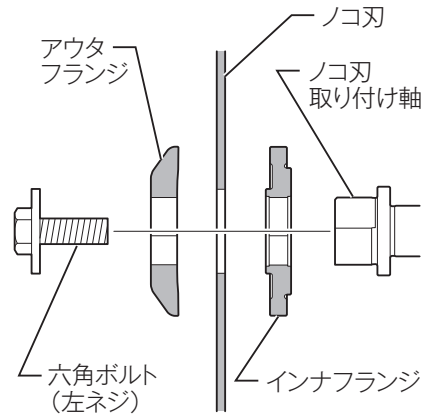


使い方

3. ノコ刃を締め付けている六角ボルト（左ネジ）にボックスレンチを差し込み、シャフトロックを押し付けながらボックスレンチを右方向に回して六角ボルト（左ネジ）をゆるめ、六角ボルト（左ネジ）、アウトフランジをはずします。

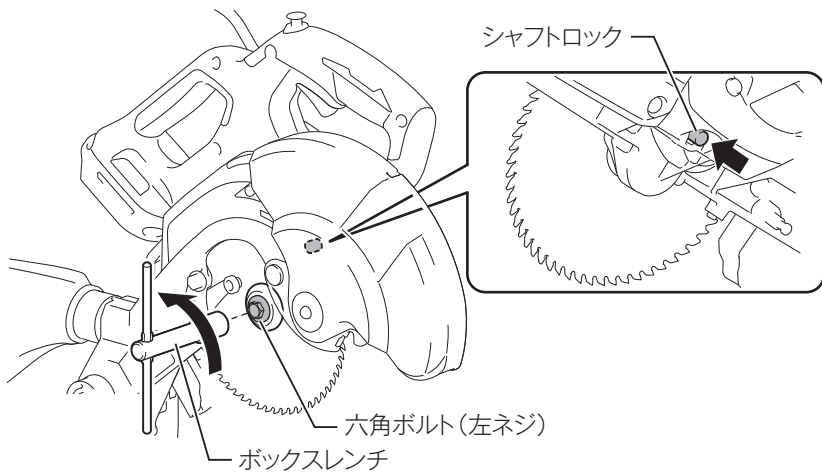


4. ブレードケースの矢印とノコ刃の回転方向を合わせて、ノコ刃取り付け軸にインナフランジ→ノコ刃→アウトフランジ→六角ボルト（左ネジ）の順に取り付けます。

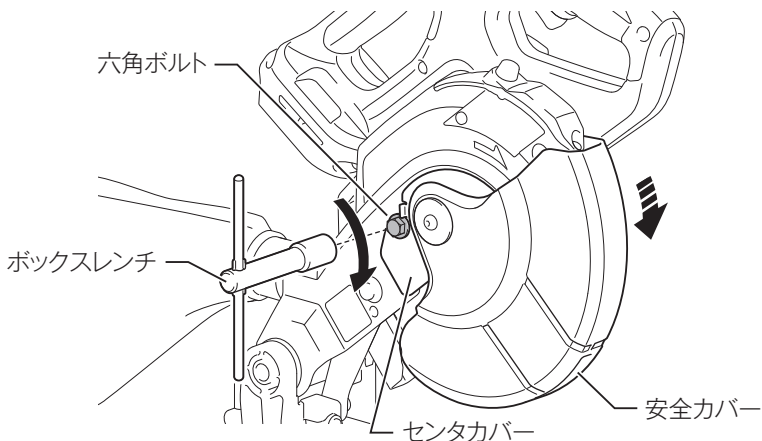


使い方

5. 六角ボルト（左ネジ）にボックスレンチを差し込み、シャフトロックを押し付けながらボックスレンチを左方向に回して、六角ボルト（左ネジ）をしっかり締め付けます。



6. 安全カバーを元の状態に戻し、センタカバーを六角ボルトでしっかり固定します。

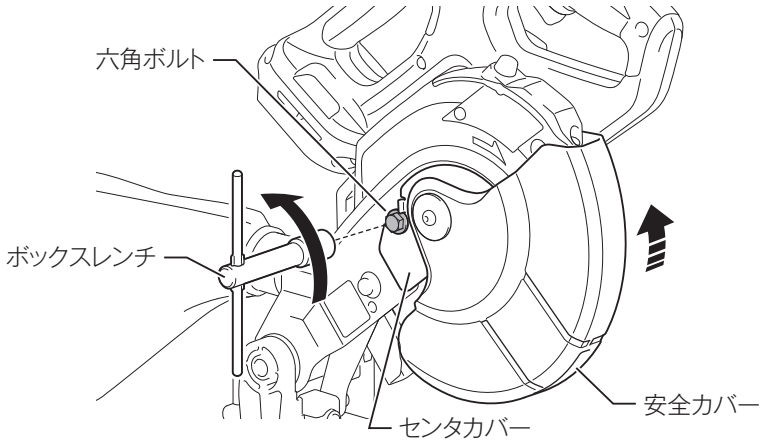


7. ストップピンを引いて、本機の固定を解除します。
8. ハンドル部を下げて、安全カバーが正常に作動することを確認します。
 - ・安全カバーはハンドルを下げると自動的に上がり、ハンドルを上げると元に戻ります。

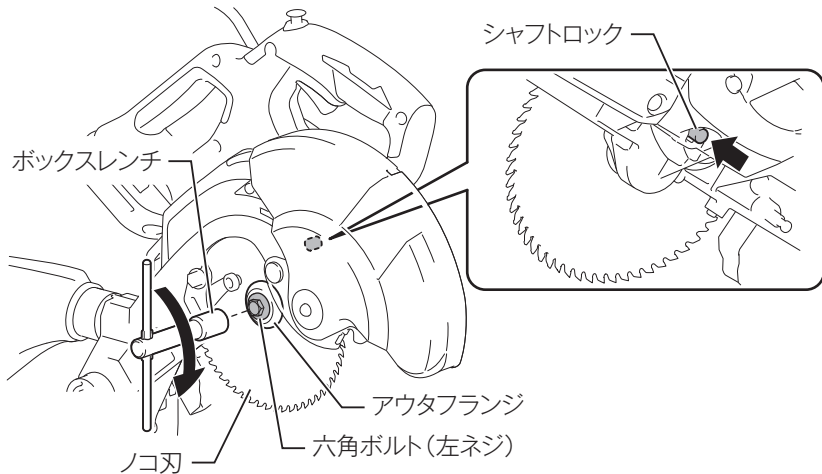
使い方

取りはずし方

1. 本機が上がった位置で、ストップピン（29 ページ参照）を押し込み、本機が下がらないように固定します。
2. センタカバーを固定している六角ボルトをボックスレンチでゆるめ、安全カバーを持ち上げ、センタカバーを開きます。



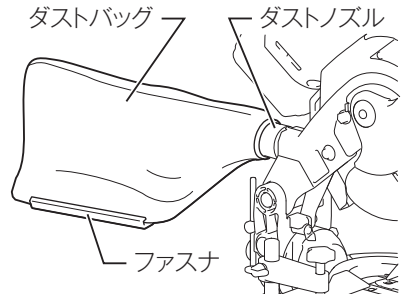
3. ノコ刃を締め付けている六角ボルト（左ネジ）にボックスレンチを差し込み、シャフトロックを押し付けながらボックスレンチを右方向に回して六角ボルト（左ネジ）をゆるめ、六角ボルト（左ネジ）、アウトフランジ、ノコ刃はずします。



使い方

ダストバッグ

- ・ダストバッグをダストノズルに差し込んでください。
- ・ダストバッグは、切りくずでいっぱいになる前に掃除してください。
- ・掃除するときは、ダストバッグを取りはずしファスナを引き抜き、中の切りくずを捨ててください。ダストバッグは、口元を回しながら引き抜くとはずしやすくなります。
- ・ダストバッグの代わりに、当社集じん機を使用させていただきますと、より衛生的な作業ができます。



使い方

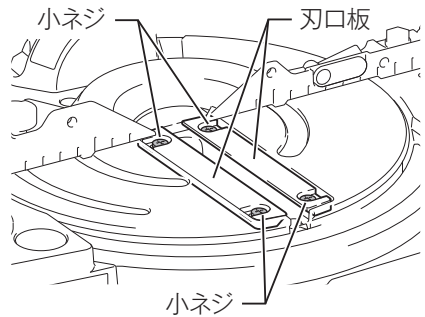
刃口板の調整

⚠ 警告

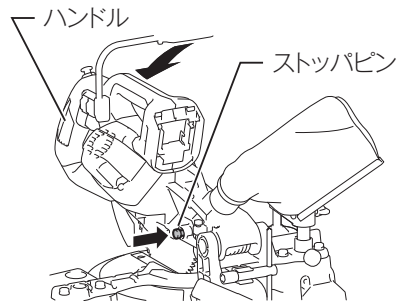
刃口板の調整の際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

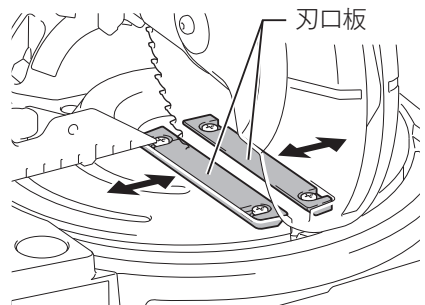
- ・ 工場出荷時は、ノコ刃と接触しない位置に刃口板が取り付けられています。ご使用前にノコ刃と刃口板が一致するように、次の手順で調整してください。
1. 刃口板を固定している小ネジ（左右各2本）をゆるめ、刃口板が手で容易に動く程度に締め直します。



2. ハンドルを下げ、本機固定用のストップピンを押して本機を下限位置に固定します。



3. 刃口板がノコ刃の刃先側面に軽く触れる位置に動かして、小ネジを仮締めします。

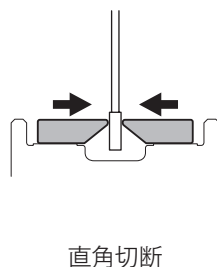
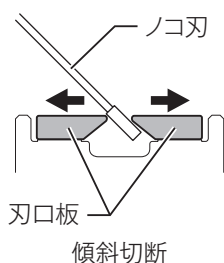


使い方

4. 左右の刃口板の仮締めが完了したら、ストップピンを引いて本機を上げ、刃口板固定用の小ネジをしっかりと締め付けます。

注

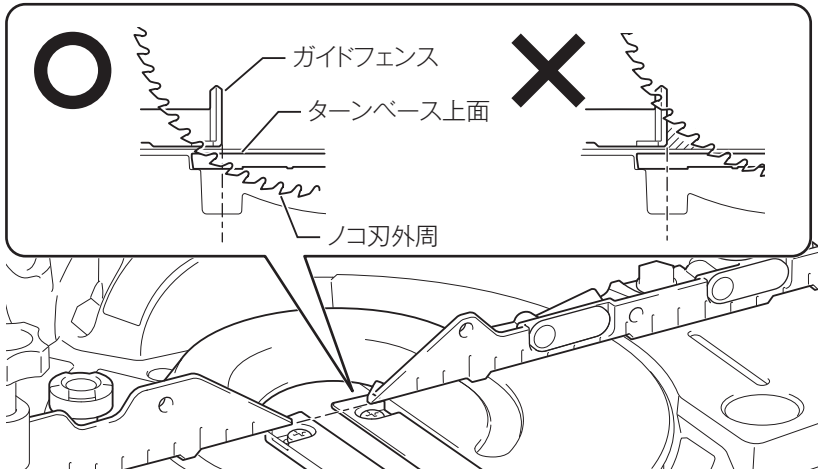
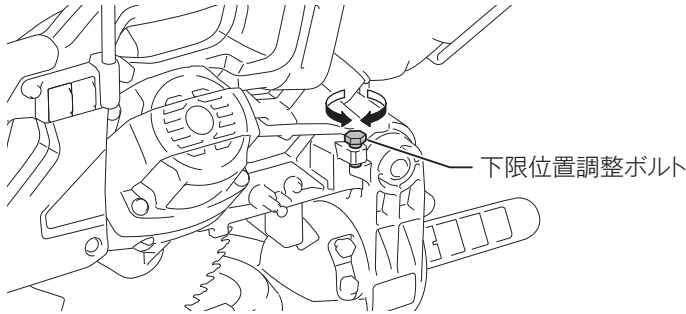
- ・ ノコ刃の傾斜角度をかえるときは、その都度ノコ刃と刃口板が一致するように、刃口板を調整してください。



使い方

ノコ刃の下限位置決め調整

- ・ 外径 165 mm のノコ刃を基準にしてノコ刃の下限位置を調整してあります。165 mm 以外のノコ刃を使用するときは、材料の切り残しが生じないように、下限位置を調整してください。
1. ハンドルをいっぱい下げます。
 2. 下限位置調整ボルトをボックスレンチで回して、ノコ刃の外周がガイドフェンス面とターンベース上面の交差する位置より下がった位置に調整します。



注

- ・ ノコ刃を取り替えたときは、ノコ刃がターンベースに当たる恐れがありますので、ノコ刃の下限位置をご確認の上ご使用ください。

使い方

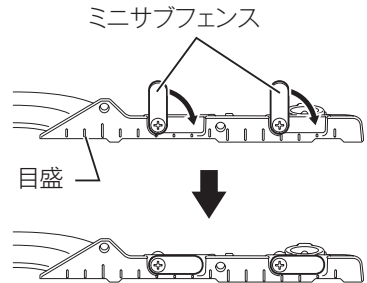
ミニサブフェンスの使い方

⚠ 警告

右傾斜切断時は、ミニサブフェンスを倒してガイドフェンス内におさめてから作業してください。

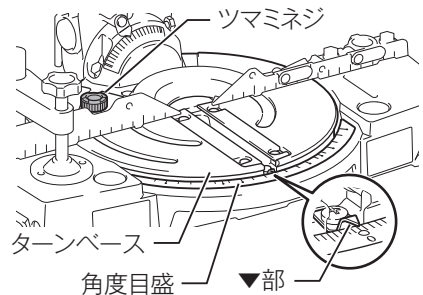
- ・ 本機およびノコ刃がミニサブフェンスにあたり、けがの原因になります。

- ・ 本機はガイドフェンスにミニサブフェンスが付いています。直角および左傾斜切断時に材料の案内面が広くとれます。
- ・ ガイドフェンスには 10 mm ごとに目盛が付いています。切り落とし寸法の目安になります。



角度切断の切断角度設定

- ・ 本機はターンベースが左 52°、右 52°まで回転します。
1. ターンベース固定用のツマミネジをゆるめ、ターンベースを動かします。
 2. ▼部を角度目盛に合わせてツマミネジをしっかりと締め付け、ターンベースを固定します。



注

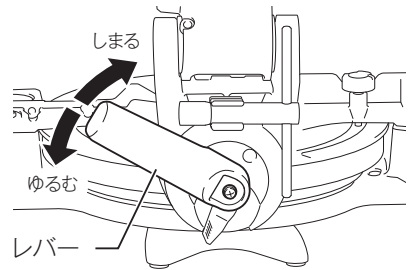
- ・ 切断角度を変えるときは、ハンドル部が上がった状態で行ってください。
- ・ 角度を変えた後は、ターンベースが動かないようにツマミネジで確実に固定してください。

使い方

傾斜切断の切断角度設定

ノコ刃傾斜角度 左右0～45°までの設定

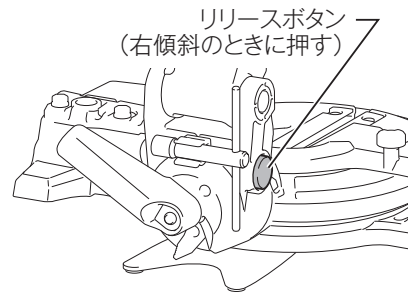
1. 本機後部のレバーをゆるめます。



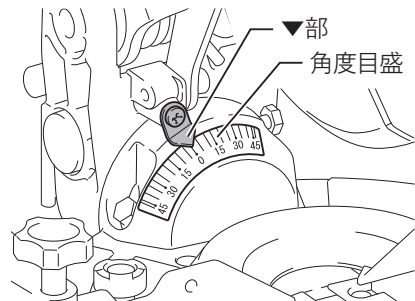
2. 左傾斜のとき：
本機を左方向に傾斜させます。

右傾斜のとき：

レバーをゆるめた後に、少し左方向に傾斜させてリリースボタンを押します。そのままリリースボタンを押しながら右方向に傾斜させます。



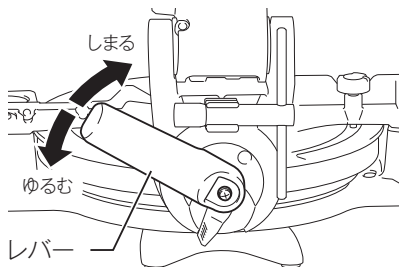
3. ▼部を角度目盛に合わせてレバーをしっかりと締め付け、アームを固定します。



使い方

ノコ刃傾斜角度 左右 46° の設定

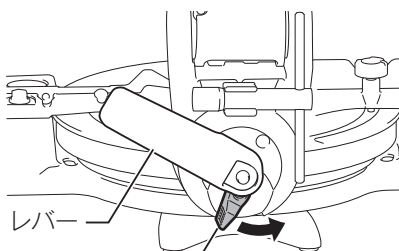
1. 本機後部のレバーをゆるめて左、または右に 45° 傾斜させます。



2. 左傾斜のとき：

本機を少し右傾斜方向に戻し、リリースレバーを矢印の方向に動かします。

リリースレバーを動かしたまま左方向に傾斜させると、45°～約 46°までの設定ができます。



右傾斜のとき：

本機を少し左傾斜方向に戻し、リリースレバーを矢印の方向に動かします。

リリースレバーを動かしたまま右方向に傾斜させると、45°～約 46°までの設定ができます。

3. レバーをしっかり締め付け、アームを固定します。

使い方

材料の固定（たてバイスの使い方）

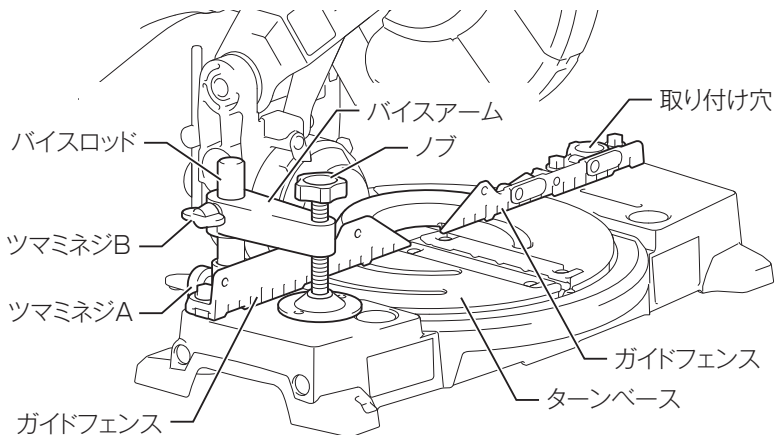
⚠ 注意

材料の固定は確実に行ってください。

- ・ 材料の固定が不十分な場合、材料が飛ばされけがの原因になります。

たてバイスは、左右のガイドフェンスのどちらにも取り付けられます。

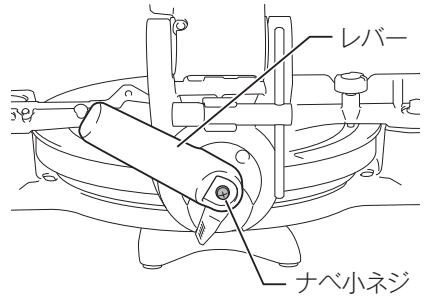
1. バイスロッドをガイドフェンスの取り付け穴に差し込み、ツマミネジ A で固定します。
2. 材料の厚さなどに合わせてバイスアームの位置を決め、ツマミネジ B で固定します。
 - ・ ハンドルを下げたとき、バイスが本機のどこにも接触しないことを確認してください。もしバイスが本機の一部に接触するときは、バイスロッドおよびバイスアームの位置を変えてください。
3. 材料をガイドフェンスとターンベースに密着させ、材料の切断位置を合わせ、ノブを右に回して材料を固定します。
 - ・ 固定できる最大材料厚さは、46 mm です。



使い方

レバーの角度設定

- レバーの締め付け状態が悪い場合は、30°ごとに設定を変えることが可能です。
- ナベ小ネジをゆるめてはずします。
 - レバーをはずし、図のように水平よりも少し上向き状態に組み付けます。
 - ナベ小ネジをしっかりと締め付けます。



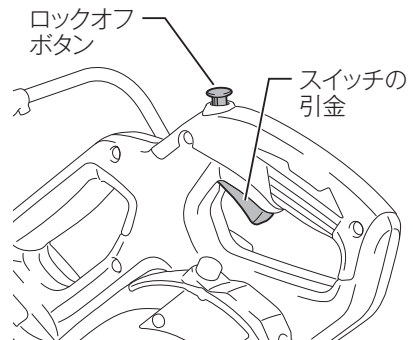
スイッチの操作

⚠ 警告

本機にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- スイッチを入れたまま、バッテリーを差し込むと事故の原因となります。

- スイッチはロックオフボタンを押し込んだ状態で、スイッチの引金を引けば入り、放すと切れます。
- スイッチの引金を放すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。



使い方

ライトの使い方

⚠ 警告

本機は防水構造ではありません。水洗いしたり、雨中や湿気の多い所で使用しないでください。

- ・ 感電や発煙の恐れがあります。

⚠ 注意

ライト点灯時、および消灯直後はライトレンズ部が高温になっているため、触れないでください。

- ・ やけどの原因になります。

ライトに強い衝撃を加えないでください。

- ・ ライトの損傷や寿命低下の原因になります。

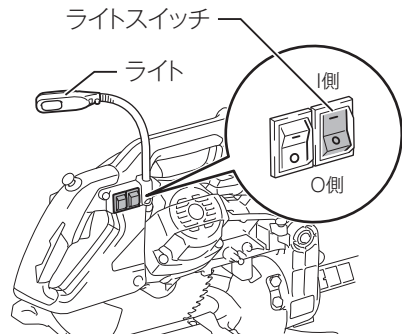
目に光を当て続けしないでください。

- ・ 目を傷める原因となります。

点灯したまま、布やダンボールなどをかぶせないでください。

- ・ 発火の恐れがあります。

- ・ ライトのスイッチは I 側を押すと点灯し、O 側を押すと消灯します。
- ・ 照明位置を変えるにはライトを動かしてください。



注

- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などで拭きとり、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。

使い方

レーザーの使い方

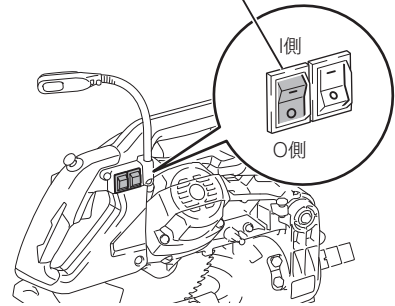
⚠ 注意

レーザー光（ビーム）を直接のぞきこまないでください。

- ・ レーザー光が目に直接当たると、目を傷める原因になります。

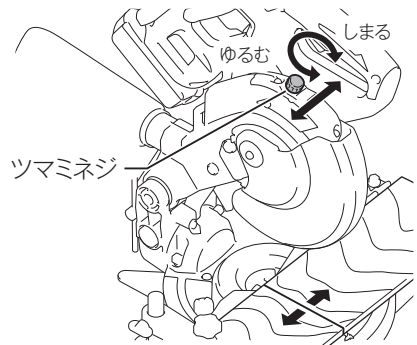
- ・ レーザーのスイッチは I 側を押すと点灯し、O 側を押すと消灯します。

レーザースイッチ



ツマミネジを下記手順で操作することによって、レーザーラインをノコ刃の左側、または右側に移動させることができます。

1. ツマミネジを少しゆるめます。
 2. その状態でツマミネジを右、または左に止まるまでスライドさせます。
 3. 止まった位置でツマミネジをしっかり締め付けます。
- ・ レーザーラインの位置は、ノコ刃側面（切断位置）から 1 mm 以内になるように、出荷時に調整してあります。
 - ・ より正確に位置合わせをする場合は、54 ページ「レーザーラインの位置調整」の項目を参照してください。



注

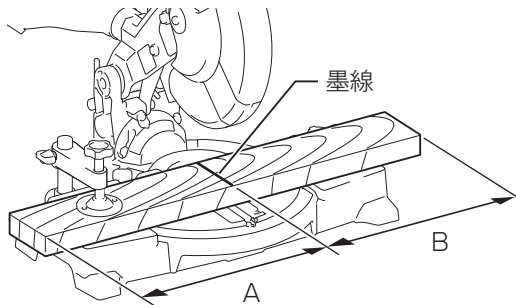
- ・ ツマミネジはゆるめすぎないようにしてください。
- ・ 屋外や屋内の窓際作業で、太陽光によりレーザーラインが薄く見えにくい場合は、太陽光が直接当たらない場所で作業してください。

使い方

レーザーラインの合わせ方

切断用途によりレーザーラインはノコ刃の左側、または右側の墨線に合わせることができます。レーザーラインの移動方法は、44 ページ「レーザーの使い方」の項目を参照してください。

1. 用途に合わせてレーザーラインを移動します。
 - ・ A（材料の左側）の長さが必要な場合
ノコ刃の左側にレーザーラインを移動させます。
 - ・ B（材料の右側）の長さが必要な場合
ノコ刃の右側にレーザーラインを移動させます。
2. レーザーラインに墨線を合わせます。



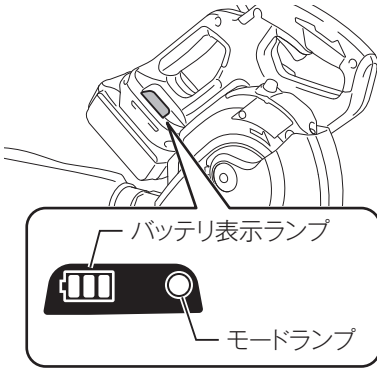
切断方法は、54 ページ「レーザーラインの位置調整」の項目を参照してください。

使い方

各種機能

1. バッテリー残容量表示機能

- ・ スイッチの引金を引くと、バッテリー表示ランプがバッテリー残容量を表示します。



バッテリー表示ランプ		バッテリー残容量
■:点灯	□:消灯	
		50% - 100%
		20% - 50%
		0% - 20%
		充電してください

2. 自動モード切替機能

- ・ 本機には、動作モードに「高速回転モード」と「高トルクモード」があり、作業時の負荷に応じて自動的にモードが変わります。
- ・ モードランプが点灯している場合は、「高トルクモード」になっています。

モードランプ	動作モード
	高速回転モード
	高トルクモード



使い方

3. 本機・バッテリー保護機能

- ・ 本機およびバッテリーの寿命を延ばすために、自動停止する機能です。
- ・ 作業時に、本機またはバッテリーが下記の状態になると自動停止します。状況によっては、バッテリー表示ランプが点灯します。

発熱保護機能

- ・ 本機が熱くなると、本機は自動停止してバッテリー表示ランプが点灯・点滅します。再始動前に本機を十分に冷ましてください。
- ・ 高温の環境下では発熱保護機能が働き、本機は自動停止します。

バッテリー表示ランプ	■:点灯 □:消灯 ▣:点滅
 	本機の異常発熱

過放電保護機能



- ・ バッテリー残容量が少なくなると、本機は自動停止しします。スイッチを操作しても本機が動作しない場合、バッテリーをはずして充電してください。

過負荷保護機能

- ・ 作業時に異常な負荷を感知すると、本機は自動停止します。スイッチを切り、過負荷の要因を取り除いた後、再度スイッチを入れてください。

保護機能によるロック解除

- ・ 保護機能が繰り返し働いた場合、本機がロックされバッテリー表示ランプが点滅します。

バッテリー表示ランプ	■:点灯 □:消灯 ▣:点滅
 	保護機能によるロック

- ・ このような場合は、スイッチを切って過負荷の要因を取り除いた後、再度スイッチを入れてください。スイッチを再度操作しても本機が動作しない場合、バッテリーをはずして充電器に挿入し、充電が完了するまでお待ちください。

使い方

切断方法

⚠ 警告

必ずノコ刃が完全に停止してからハンドルを上げてください。

- ・ 切り落とし側の材料がノコ刃に巻き込まれ飛散しけがの原因になります。

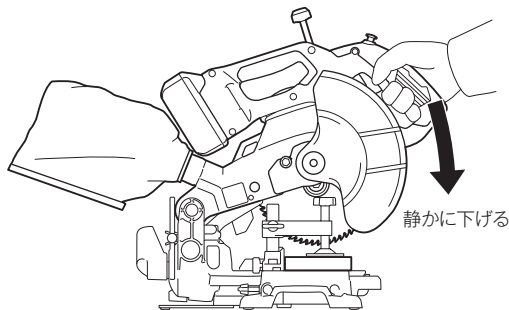
⚠ 注意

無理にハンドルを押えついたり、左右に強い力を加えないでください。

- ・ モーターに無理がかかるばかりでなく本機に強い反発力を生じ、けがの原因になります。

1. 直角切断

- ・ 高さ 46 mm × 幅 92 mm までの材料が切断できます。
1. 切断角度を設定した後、材料をガイドフェンスとターンベースに密着させ材料の切断位置を合わせてバイスで確実に固定します。
 2. ハンドルを握りノコ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れます。
 3. ノコ刃の回転が上昇し、安定してからハンドルを軽く押え、静かに下限位置まで下げて切断します。
 4. 材料を切り終わったら、その位置でスイッチを切り、ノコ刃の回転が完全に止まってからハンドルを上げます。



2. 角度切断（ターンベース回転）

- ・ 38 ページ「角度切断の切断角度設定」の項目を参照してください。

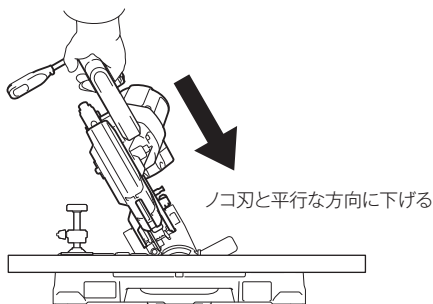
使い方

3. 傾斜切断

- ・ 下記の材料が切断できます。

左 45° 傾斜時	高さ 30 mm × 幅 92 mm
右 45° 傾斜時	高さ 15 mm × 幅 92 mm

- ・ アーム固定用のレバーをゆるめ傾斜角度を設定してください。39 ページ「傾斜切断の切断角度設定」の項を参照してください。
1. 「直角切断」と同様に材料を固定し、スイッチを入れます。
 2. ハンドルをノコ刃と平行な方向（ノコ刃の傾斜した方向）へ軽く押え、静かに下限位置まで下げて切断します。
 3. 材料を切り終わったら、その位置でスイッチを切り、ノコ刃の回転が完全に止まってからハンドルを上げます。



注

- ・ ハンドルを操作するときは、ノコ刃と平行な方向に力を加えてください。
- ・ ターンベースと垂直な方向に力を加えたり、切断途中で力の加わる方向が変わると切断精度が悪くなります。

4. 複合切断（角度切断＋傾斜切断）

- ・ ターンベースによる角度設定とノコ刃による傾斜角度設定を組み合わせることによって表に示す範囲の複合切断ができます。

角度切断	傾斜切断
左右 45° のとき	左右 45° まで
右 52° のとき	左 20° 右 45° まで
左 52° のとき	左 45° 右 20° まで

- ・ 下記の材料が切断できます。

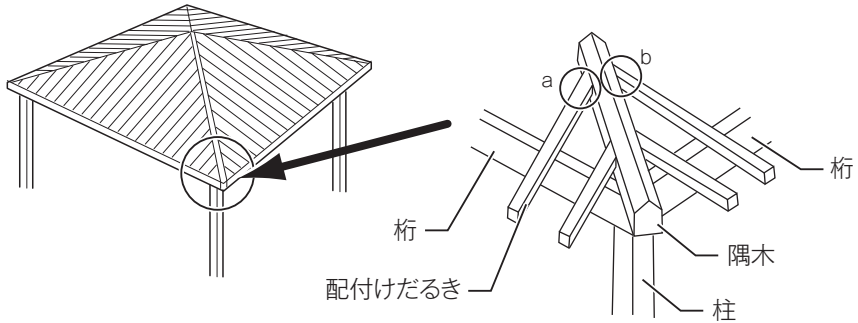
ターンベース角度 左右 45°	左 45° 傾斜時	高さ 30 mm × 幅 65 mm
	右 45° 傾斜時	高さ 15 mm × 幅 65 mm

- ・ 角度切断、および傾斜切断の項を参照してお使いください。

使い方

5. 配付けだるき加工

- ・ 複合切断により、43 mm 角材までの配付けだるきの加工ができます。
- ・ 配付けだるきの隅木胴付部は、図に示す a 部と b 部があります。ターンベース回転方向およびノコ刃の傾斜方向により、下記のように a 部と b 部になります。



ノコ刃左傾斜	
ターンベース左方向	ターンベース右方向

- ・ 屋根勾配に合った切断角度（ターンベースの角度・ノコ刃の傾斜角度）を下の表より設定してください。

配付けだるき加工表

屋根勾配	2寸	2寸5分	3寸	3寸5分	4寸	4寸5分	5寸	5寸5分
ターンベースの角度	45.6°	45.9°	46.2°	46.7°	47.1°	47.6°	48.2°	48.8°
ノコ刃の傾斜角度	8°	10°	11.5°	13.5°	15°	17°	18.5°	20°

- ・ 「直角切断」と同様に材料を固定して切断してください。

使い方

6. アルミサッシの切断

⚠ 注意

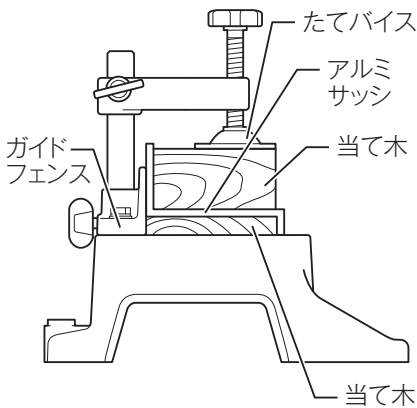
当て木や治具を使用しても確実に固定できないものは、切断しないでください。

- ・ 材料の固定が不安定となり、けがの原因になります。

丸棒など断面が中空でないもの、肉厚が大きいものは、切断しないでください。

- ・ 本機に反発力を生じ、けがの原因になります。

- ・ アルミサッシなどバイスで直接締め付けると容易に変形する材料は、材料の形状に合わせた当て木や治具を使用して、材料が変形しないようにしてから切断してください。
- ・ アルミサッシの切断に際しては、材料に軽油など切削油を塗布してください。



使い方

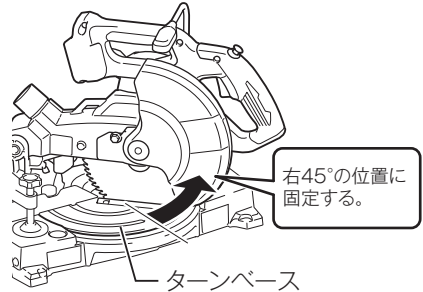
本機の持ち運び

⚠ 警告

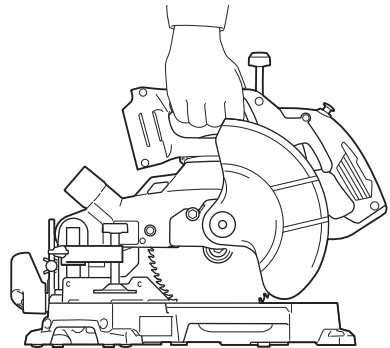
本機の持ち運びの際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

1. ノコ刃傾斜角度は0°、ターンベース角度は右45°の位置で固定します。
2. ハンドルを下限位置まで下げて、ストップピン(29ページ参照)を押し込み、本機が上がらないように固定します。



3. 本機上部の運搬用グリップを持って運びます。



1回の充電での作業量 (BL1860Bの場合)

- ・ 数値は参考値です。
- ・ 数値はノコ刃の切れ味などにより異なります。

材料	サイズ (mm)	切断量
巾木	高さ 15 × 幅 90	約 750 本
アルミ アンゲル材	高さ 40 × 幅 40 × 厚さ 3	約 200 本

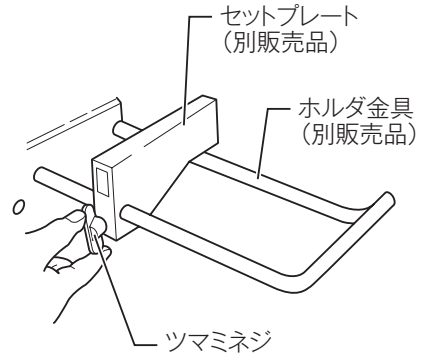
注

- ・ 予備のバッテリーを使用して連続作業をされる場合は、本機を15分以上休止させてください。

別販売品の使い方

ホルダとセットプレートを使った定寸切断

- ・ 材料を 200 ~ 330 mm の長さに繰返し定寸切断するときは、ホルダ金具（別販売品）にセットプレート（別販売品）を取り付け、ご希望の切断寸法にセットプレートを合わせてツマミネジで固定してください。
- ・ 材料を定寸切断しないときは、ツマミネジをゆるめてセットプレートを手前へ倒してください。



ショルダベルトの取り付け方

⚠ 注意

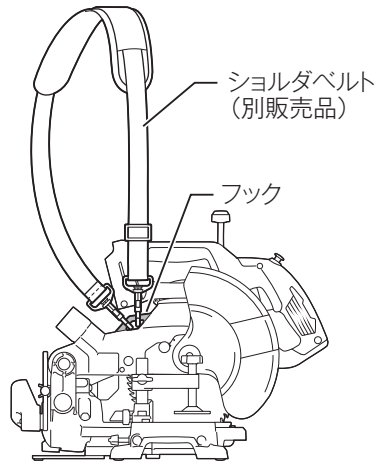
ショルダベルトを取り付けた状態で切断作業は行わないでください。

- ・ 巻き込みなど、けがの原因となります。

ショルダベルトの金具は確実にフックに取り付けてください。

- ・ 持ち運び時に金具がはずれ、けがの原因となります。

- ・ ショルダベルトを使用すると本機の持ち運びが楽になります。ブレードケースのフックにショルダベルトの金具を取り付けてください。



保守・点検について

レーザーラインの位置調整

⚠ 警告

点検・整備の際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

レーザーラインの位置調整は、バッテリーを差し込んで作業するため、スイッチの操作には十分注意してください。

・ 不意にスイッチの引金を引くとノコ刃が回転し、思わぬ事故の原因になります。本機にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま、バッテリーを差し込むと事故の原因となります。

⚠ 注意

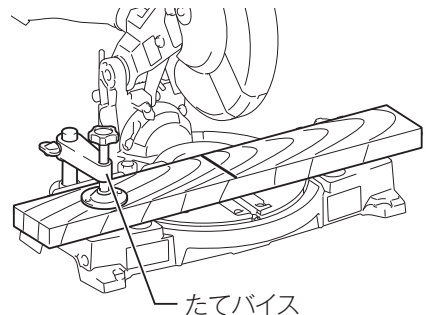
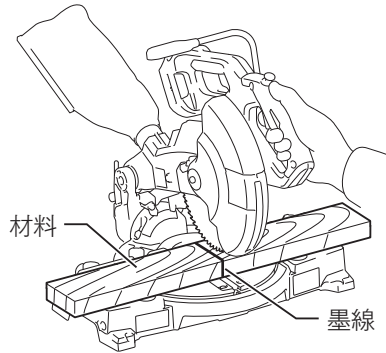
レーザー光（ビーム）を直接のぞきこまないでください。

- ・ レーザー光が目には直接当たると、目を傷める原因になります。

本機に強い衝撃を加えないでください。

- ・ レーザーラインの位置が狂ったり、レーザー発光部の損傷や寿命低下の原因になります。

1. バッテリーが差し込まれていないことを確認します。
2. 材料を本機に乗せます。
このとき、たてバイスなどで固定はしないでください。
3. モータ部を下ろし、墨線と刃物の位置を確認します。
4. 墨線に対するお好みの切断位置を決めます。
5. 切断位置が決定したら、モータ部を元に戻し、決めた切断位置から材料が動かないように付属のたてバイスで固定します。
6. バッテリーを差し込み、レーザーのスイッチを入れます。
7. レーザーラインの位置調整を次の手順で行います。

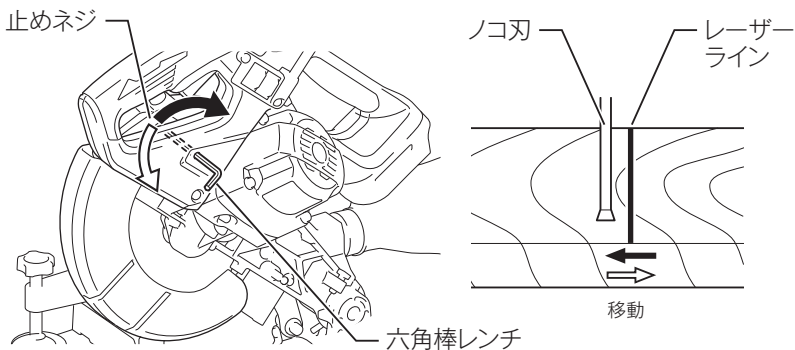


保守・点検について

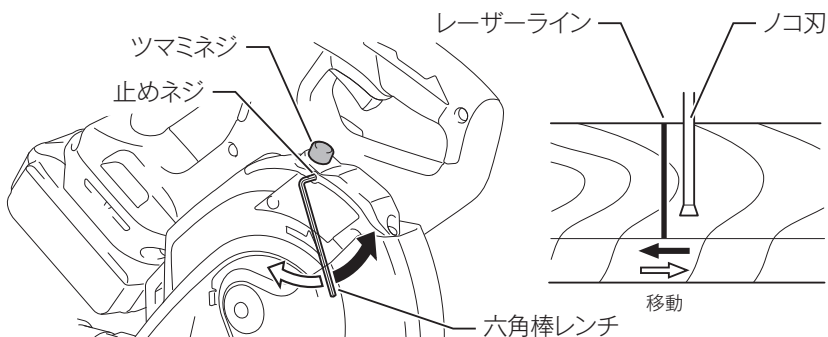
2 か所の止めネジを付属の六角棒レンチで回すことにより、ツمامネジのスライド範囲が変わるため、レーザーラインとノコ刃側面の距離が調整できます。(出荷時はノコ刃側面から 1 mm 以内に調整してあります。)

- ・ ツمامネジをゆるめた後、それぞれ 2 か所の止めネジを左に回すとレーザーラインはノコ刃側面から遠ざかる方向に設定でき、右に回すとノコ刃側面に近づく方向に設定できます。
- ・ 44 ページの「レーザーの使い方」を参照してツمامネジを操作し、レーザーラインが墨線に合うように止めネジの位置を調整してください。

ノコ刃の右側のレーザーラインを調整する場合



ノコ刃の左側のレーザーラインを調整する場合



注

- ・ 定期的にレーザーラインの位置が狂っていないことを確認してください。
- ・ 不具合が生じた場合には、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。

⚠ 警告

点検・整備の際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。

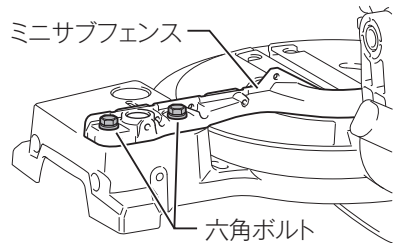
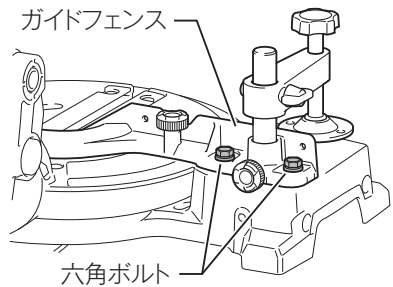
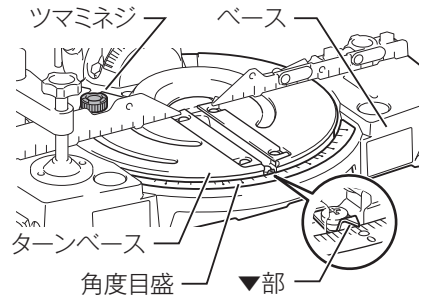
- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

切断角度の調整

- ・ 切断角度は出荷時に調整してありますが、万一輸送中やご使用中に狂いが生じた場合は、次の手順で調整してください。

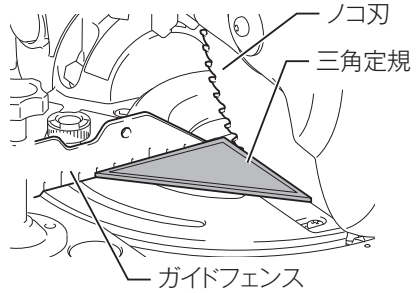
1. 角度切断時の角度調整

1. ターンベース固定用のツマミネジをゆるめます。
2. ターンベースの▼部とベースの角度目盛0°を合わせ、ターンベースを左右に少し動かしてターンベースの位置を安定させます。
▼部と0°が一致しない場合がありますが、そのままにしておいてください。
3. ガイドフェンスとミニサブフェンスを固定している、それぞれ2本の六角ボルトをボックスレンチでゆるめます。
4. ハンドルを下げて、ストップピン(29ページ参照)で固定します。

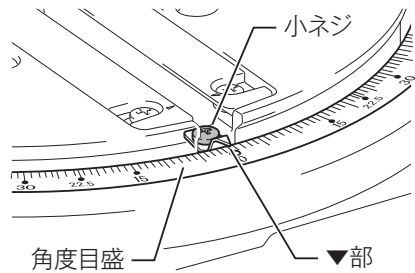


保守・点検について

5. ノコ刃側面とガイドフェンス面に三角定規、またはかね尺をあて、ノコ刃とガイドフェンスが直角になるようにガイドフェンスを調整します。
6. ガイドフェンスが動かないように注意しながら、六角ボルトを静かに右端から順番に締め付けます。



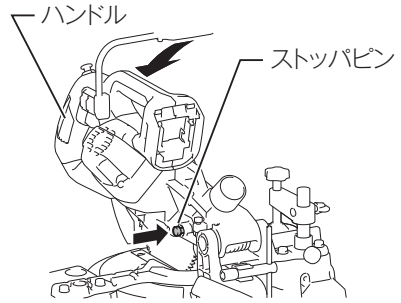
7. ターンベースの▼部と角度目盛の 0° が一致しているか確認します。
▼部と角度目盛の 0° が一致していないときは、小ネジをゆるめて▼部を角度目盛の 0° に合わせてください。



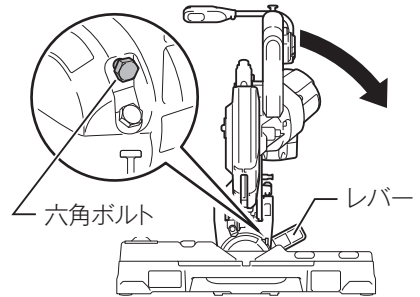
保守・点検について

2. 傾斜切断時の角度調整（直角位置）

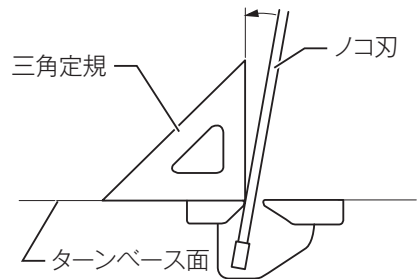
1. ハンドルを下げてストップピンで固定します。



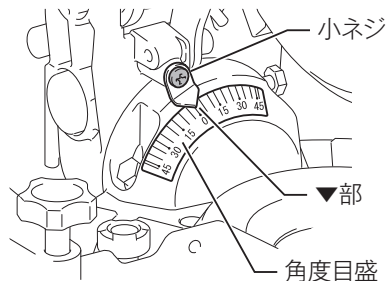
2. アーム後部のレバーをゆるめます。
3. ターンベースの六角ボルトをボックスレンチで左に2～3回転させ、本機を右方向に傾けます。



4. ターンベース面とノコ刃の側面に三角定規をあて、ターンベースの六角ボルトを右に回してターンベースとノコ刃が直角になるように調整します。
5. 調整が終了したら、レバーをしっかり締め付け本機を固定します。



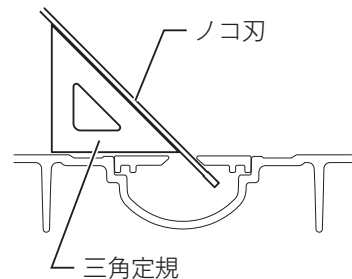
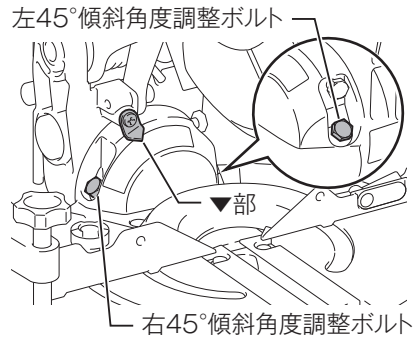
6. アームの▼部とターンベースの角度目盛の0°が一致しているか確認します。
 - ・一致していないときは、小ネジをゆるめて▼部を角度目盛の0°に合わせてください。



保守・点検について

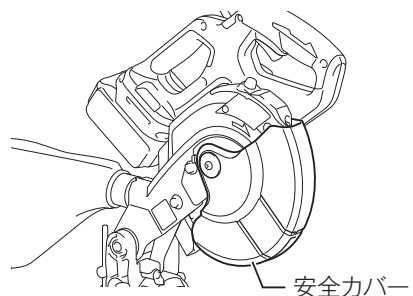
3. 傾斜切断時の角度調整（左右 45° 位置）

1. ターンベースとノコ刃とが直角になったときに、▼部がターンベースの角度目盛の 0° に合っているか確認します。
58 ページ「傾斜切断時の角度調整（直角位置）」の項目を参照してください。）
2. レバーをゆるめて本機を左 45° に傾斜させます。
3. ターンベースの六角ボルトをボックスレンチで左へ 2 ~ 3 回転させて本機を左へ傾けます。
4. ターンベースとノコ刃の側面に三角定規をあて、ターンベースの六角ボルトを右へ回してターンベースとノコ刃が 45° になるように調整してください。
 - ・ 右 45° 傾斜位置も同様に調整してください。



安全カバーの動作点検と整備

- ・ 安全カバーは、ハンドルを下げると自動的に上がり、切り終わってハンドルを上ると、元に戻ります。この安全カバーの動作が不完全なまま使用したり、故意に任意の位置で固定して使用することは法令により禁止されています。けがなどの事故を防ぐため正常な状態で使用してください。
- ・ 動作が異常なときは直ちに修理に出してください。
- ・ 安全カバーに切り粉などが付着してノコ刃先が見にくくなったときは湿った布で切り粉などを拭きとってください。



保守・点検について

レーザー発光部の清掃

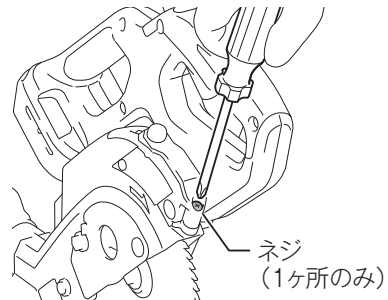
レーザー発光部のレンズに、切りくずなどが付いてレーザーラインが見えにくくなった場合は、レーザー発光部のレンズを取りはずし、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませて軽く拭きとってください。

注

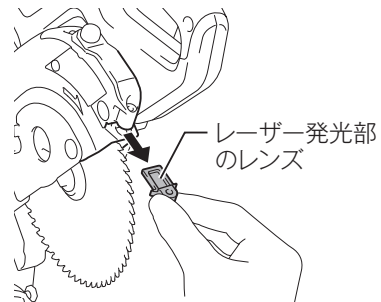
- ・ シンナー、ガソリンなどの揮発性の溶剤でレンズを拭かないでください。
 - ・ レンズが変形したり、くもりが生じ、レーザーラインが見えなくなります。

レーザー発光部のレンズの取りはずし方

1. ノコ刃取りはずしの要領で、ノコ刃を取りはずします。
2. プラスドライバーでネジを（1か所のみ）ゆるめます。



3. レーザー発光部のレンズを引き抜きます。
 - ・ 抜けない場合は、さらにネジをゆるめてから引き抜いてください。
 - ・ ネジは完全にはずさないでください。



⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本機に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本機内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881C69D9
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)